TAS-C





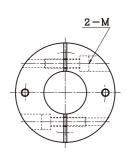


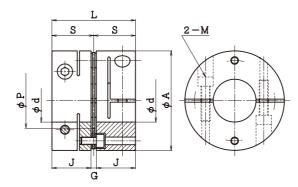


シングル板ばね式による高剛性化と軽量ボディにより 精度・制御応答性の向上を追求しました。

TAS-35·40C







■性能・寸法 (寸法単位:mm)

型番	許容トルク N·m	許容偏心 mm	許容偏角	許容軸方向変位 mm	最高回転速度 min-1	タイプ	全体	D剛性 板ばねのみ N·m/rad	軸方向ばね定数 N/mm	慣性モーメント kg・m²	質量 kg	d	А	Е	Р	L	S	J	G	М
TAS-35C	12	0.02	1.0	±0.22	10000	_	0.77×10 ⁴	1.126×10 ⁴	50	0.138×10-4	0.077	6~16	35	_	15	35.4	17.7	16.5	2.4	M4
TAS-40C	15	0.02	1.0	±0.27	10000	_	0.92×10 ⁴	1.69×10 ⁴	40	0.22×10-4	0.09	8~20	40	-	17	35.6	17.8	16.5	2.6	M4

■ご注文方法(例)

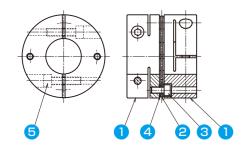
TAS-35C-18×20

軸穴径 18×20mm締結方法 ボルトクランプ方式ハブ外径 35mm

ハブ外径 35mm板ばね シングル

●標準軸穴径以外の穴径に対応できる場合もあります。お問い合わせください。

■材質



	部品名	材質
0	ハブ	A7075
2	板ばね	SUS304
3	板ばね締付ボルト	SCM435
4	座金	SUS304
6	締結ボルト	SCM435

■軸穴径 (単位:mm)

THE								(t							
型番	6	7	8	9	9.525	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
TAS-35C	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	0				
TAS-40C			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	0	0	0

- □許容軸方向変位は偏心・偏角がゼロの場合を表します。
- □慣性モーメント、質量は軸穴径が最大の場合を表します。
- □取付軸はJ寸法まで確実に挿入してください。
- □推奨軸公差はh6です。(軸径35mmの場合は公差 $^{+0.010}_{0}$ にも対応できます。)
- □最高回転速度は動バランスを考慮しておりません。
- □●印は軸が板ばねを貫通できる穴径を表します。(○印は非貫通穴径です。)

■締結部伝達能力

型番	軸穴径 mm	伝達能力 N·m	型番	軸穴径 mm	伝達能力 N·m
TAS-35C	(6)	8.6	TAS-40C	(8)	11.5
	(7)	10.1		(9)	13
	(8)	11.5		(9.525)	13.7
	9	13.0		(10)	14.4
	9.525	13.7		11	15.8
	10	14.4		12	17.3
	11	15.8		13	18.7
	12	17.3		14	20.2
	13	18.7		15	21.6
	14	20.2		16	23.1
	15	21.6		17	24.5
	16	23.1		18	25.9
				19	27.4
				20	28.8

- 注:()内の軸穴径は締結部伝達能力が許容トルクより小さくなっています。
- ※上記数値は取付け軸にグリース等が付着した状態を想定しています。付着した油分を除去することにより30%程度のトルクアップが見込めます。

■軸取付け

型番	軸穴径 mm	締結ボルト	締付けトルク N·m
TAS-35C	6~16	M4	2.8
TAS-40C	8~20	M4	2.8

□軸を所定位置まで押し込めたあと、片方のハブの締結ボルト2本を交互に2~3回に分けて、規定の締付けトルクまで締付けます。 その後、もう一方のハブの締結ボルト2本を同様の方法で締付けます。

37 38

TAS-C





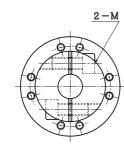


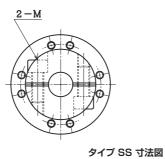


多様な軸締結タイプに対応する バリエーションを用意しています。

TAS-48~65C

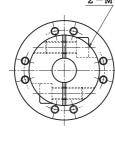


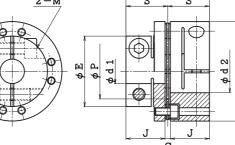


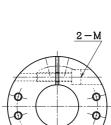




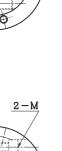
タイプ LS

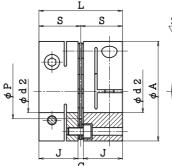


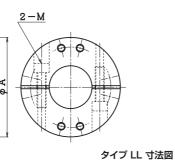




タイプ LL







■性能·寸法

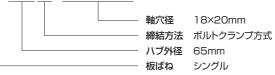
(寸法単位:mm)

タイプ LS 寸法図

型番	部かり N·m	許容偏心 mm	許容偏角	許容軸方向変位 mm	最高回転速度 min-1	タイプ	ねじり 全体 N·m/rad	板ばねのみ	軸方向ばね定数 N/mm	慣性モーメント kg・m²	質量 kg	d ₁ /d ₂	А	Е	Р	L	S	J	G	М
TAS-48C						SS	1.62×10 ⁴			0.32×10 ⁻⁴	0.12	dı:10~16		33						
	35	0.02	1.0	±0.34	10000	LS	2.14×10 ⁴	6.70×10 ⁴	110	0.43×10 ⁻⁴	0.14	d: 10~10 d: 17~25	48	33	26	41.8	20.9	19.5	2.8	M5
						LL	3.15×10 ⁴			0.55×10 ⁻⁴	0.15	u2.17.925		_						
TAS-58C	60	0.02	1.0	±0.40	10000	LL	5.90×10 ⁴	1.90×10 ⁵	180	1.56×10 ⁻⁴	0.33	d₂:12~30	58	_	31	54.3	27.15	25.5	3.3	M6
TAS-65C						SS	3.79×10 ⁴			1.45×10 ⁻⁴	0.32	dı:14~20		46						~ø20:M8
	80	0.02	1.0	±0.46	10000	LS	5.13×10 ⁴	2.28×10 ⁵	132	1.92×10 ⁻⁴	0.34	d: 14~20	65	40	36	54.5	27.25	25.5	3.5	~ψ≥0:M6 φ22~:M6
						LL	7.78×10 ⁴			2.39×10 ⁻⁴	0.36	u2.22~30		_						Ψεε ΙΝΙΟ

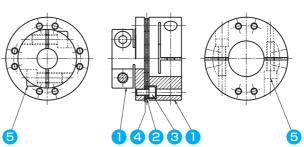
■ご注文方法(例)

TAS-65C-18×20



●標準軸穴径以外の穴径に対応できる場合もあります。お問い合わせください。

■材質 代表図:タイプ LS



	部品名	材質
1	ハブ	A7075
2	板ばね	SUS304
3	板ばね締付ボルト	SCM435
4	座金	SUS304
5	締結ボルト	SCM435

■軸穴径

(単位:mm)

型番									d₁●/	∕d₂★								
- 全田	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	22	24	25	28	30	32	35
TAS-48C	•	•	•	•	•	•	•	*	*	*	*	*	*	*				
TAS-58C			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
TAS-65C					•	•	•	•	•	•	•	*	*	*	*	*	*	*

- □許容軸方向変位は偏心・偏角がゼロの場合を表します。
- □慣性モーメント、質量は軸穴径が最大の場合を表します。
- □取付軸はJ寸法まで確実に挿入してください。
- □推奨軸公差はh6です。(軸径35mmの場合は公差 +0.010 にも対応できます。)
- □最高回転速度は動バランスを考慮しておりません。
- □●・★印は軸が板ばねを貫通できる穴径を表します。
- □ハブ形状の組合せは、両軸穴径ともd(●)の場合はタイプSS、
- d₁(●)とd₂(★)の場合はタイプLS、両軸穴径ともd₂(★)の場合はタイプLLになります。

■締結部伝達能力

型番	軸穴径 mm	伝達能力 N·m									
TAS-48C	(10)	23.5	TAS-48C	22	51.6	TAS-58C	20	66.5	TAS-65C	19	116
	(11)	25.8		24	56.3		22	73.1		20	122
	(12)	28.2		25	58.7		24	79.8		(22)	73.1
	(13)	30.5	TAS-58C	(12)	39.9		25	83.1		(24)	79.8
	(14)	32.8		(13)	43.2		28	93.1		25	83.1
	15	35.2		(14)	46.5		30	99.7		28	93.1
	16	37.5		(15)	49.9	TAS-65C	14	85.3		30	99.8
	17	39.9		(16)	53.2		15	91.4		32	106
	18	42.2		(17)	56.5		16	97.5		35	116
	19	44.6		(18)	59.8		17	104			
	20	46.9		19	63.2		18	110			

注:()内の輸穴径は締結部伝達能力が許容トルクより小さくなっています。 ※上記数値は取付け軸にグリース等が付着した状態を想定しています。付着した油分を除去することにより30%程度のトルクアップが見込めます。

■軸取付け

型番	軸穴径 mm	締結ボルト	締付けトルク N·m	型番	軸穴径 mm	締結ボルト	締付けトルク N·m
TAS-48C	10~25	M5	5.9	TAS-65C	14~20	M8	24.5
TAS-58C	12~30	M6	9.8		22~35	M6	9.8

□軸を所定位置まで押し込めたあと、片方のハブの締結ボルト2本を交互に2~3回に分けて、規定の締付けトルクまで締付けます。 その後、もう一方のハブの締結ボルト2本を同様の方法で締付けます。

39 40